

政策研究会 Topics No.6

平成 30 年度政策研究会報告会〈平成 30 年 11 月 27 日 福島テルサ〉

葛尾村へ提言書を提出しました！

政策研究会は、計 8 回にわたる活動により課題解決に向けた政策を調査研究してきました。チーム単位のグループワークを中心に、グループ内での議論や他の自治体の事例調査、根拠資料等を収集し、政策提言をまとめました。

11 月 6 日に当センター職員及び各チームの代表 1 名が葛尾村を訪問し、葛尾村副村長をはじめ村の幹部職員等の皆様に提言の概要を説明し、質疑応答などを通じて提言内容を理解していただきました。

出席いただいた皆様から、葛尾村の課題について研究員が真摯に取り組んできたことに感謝の言葉をいただき、すぐに実現できそうなものも含めて多くのアイデアをもらった、できるところから始めたい、等のコメントをいただきました。

報告会を開催し、政策提言を発表しました！

これまでの活動成果を広く発信するため、県内の自治体等職員に参加いただき報告会を開催しました。

研究員は報告会当日、午前中から集まって入念にリハーサルを行いました。また、会場設営や運営も分担して、自分たちで受付や撮影、記録なども担当しました。

最初は、遠く岡山県西粟倉村より青木秀樹村長をお迎えしての基調講演でした。西粟倉村は人口 1,500 人ほどの小さな自治体ですが、平成の大合併により多くの市町村が合併を選択する中で自立の道を選び、林業の 6 次産業化を軸とする「百年の森林構想」を掲げ、移住+起業というローカルベンチャーを積極的に支援して移住者の増加など大きな実績をあげてい



ます。新しい政策を次々に取り組む原動力は、規模のコンパクトさを生かしたスピード感と機動力の高さではないかと感じました。



成果発表では、1チームの持ち時間は20分。この中で自分たちが提言する政策の推しやポイントをいかに伝えるか、研究員たちはギリギリまで打合せしたり、読み原稿を修正したりと準備に余念がありませんでした。そして迎えた本番では、各チームとも堂々とした発表を行い、最後に基調講演講師の青木村長と葛尾村の篠木弘村長から御講評をいただきました。

70名以上の参加をいただき、多くの自治体等職員の皆さんにこれまで政策研究会が取り組んできた活動の成果を見ていただくことができました。



活動の締めくくりは、報告書の作成です。報告会では伝えきれなかった、提言実現への工程、想定予算や参考事例等を網羅して報告書を作成しておりますので、ぜひこちらをご参考ください。公表は年内を目標としています。